

Q5. 令和2年7月豪雨時の球磨川の水位について教えてください。

- 令和2年7月豪雨時には、球磨川の国管理区間の全ての水位観測所（8箇所）において、観測開始以来最高の水位を記録しており、そのうち、横石観測所（八代市）から一武観測所（錦町）に至る6観測（横石、大野、渡、人吉、一武、柳瀬）において、計画高水位を超過する水位を観測しています。



図 球磨川水系における水位及び水位流量観測所の位置図

表 令和2年7月豪雨時の各水位観測所の最高水位

河川名	球磨川	球磨川	球磨川	球磨川	球磨川	球磨川	球磨川	川辺川
観測所名	萩原	横石	大野	渡	人吉	一武	多良木	柳瀬
位置(km)	6.66	12.77	39.86	52.64	62.17	68.71	84.13	2.27
計画高水位	5.36	10.52	14.81	11.33	4.07	5.68	4.44	6.10
観測した最高水位	5.28	12.43	18.95	ピーク欠測 15.1~15.7程度 ※痕跡水位より	ピーク欠測 6.9~7.6程度 ※痕跡水位より	6.89	4.21	8.07
ピーク日時	7月4日 12:20	7月4日 12:00	7月4日 11:20	欠測	7月4日 9:50 ※人吉大橋危機管理型水位計	7月4日 9:30	7月4日 8:30	7月4日 9:00
従来の 既往最高水位	S57.7.25 4.23	S57.7.25 9.93	S57.7.25 14.73	S57.7.25 11.00	S57.7.25 4.60	S57.7.25 4.32	H5.9.3 3.53	H17.9.6 6.97
観測開始年	S29	S42	S50	S54	S26	S41	S29	S26

- このうち、渡観測所、人吉観測所では、計画高水位を超過した後、ピーク水位を含む時間帯の水位を観測できていませんが、近傍の危機管理型水位計（人吉大橋）においては、ピーク水位を含む時間帯の水位を観測しています。

※人吉水位観測所のテレメータの観測値は7:30計測の観測値以降は確認できませんが、観測所自体の記録データ（ロガーデータ）は8:30まで計測した観測値が記録されています。このテレメータやロガーデータについて、従来の水位観測所で計測できる限界を超過したため、超過時間以降は欠測となりました。

- なお、欠測した渡観測所と人吉観測所については、洪水後に実施した痕跡の調査において確認した痕跡水位から、人吉水位観測所付近の最高水位は6.9~7.6m、渡水位観測所付近の最高水位は15.1~15.7m程度と推測しています。

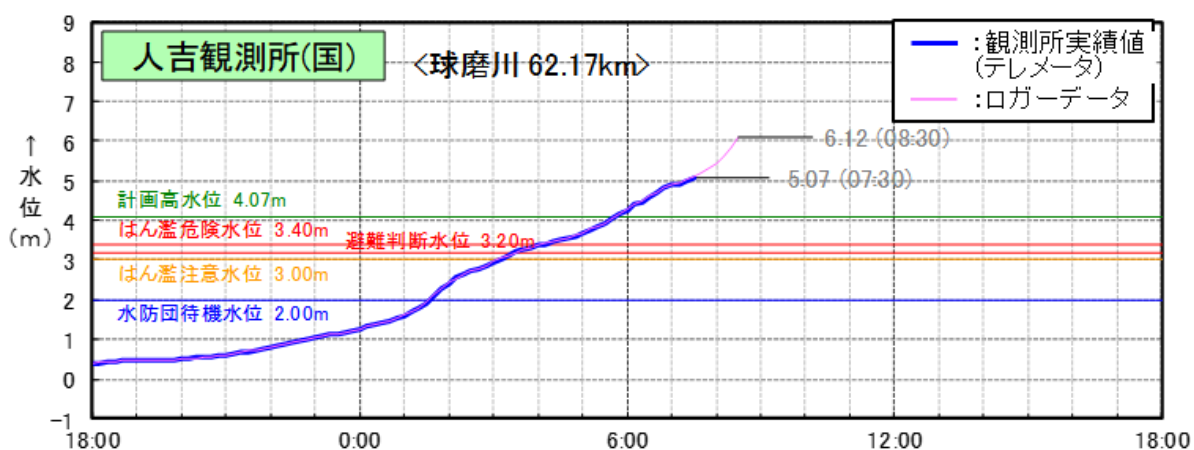
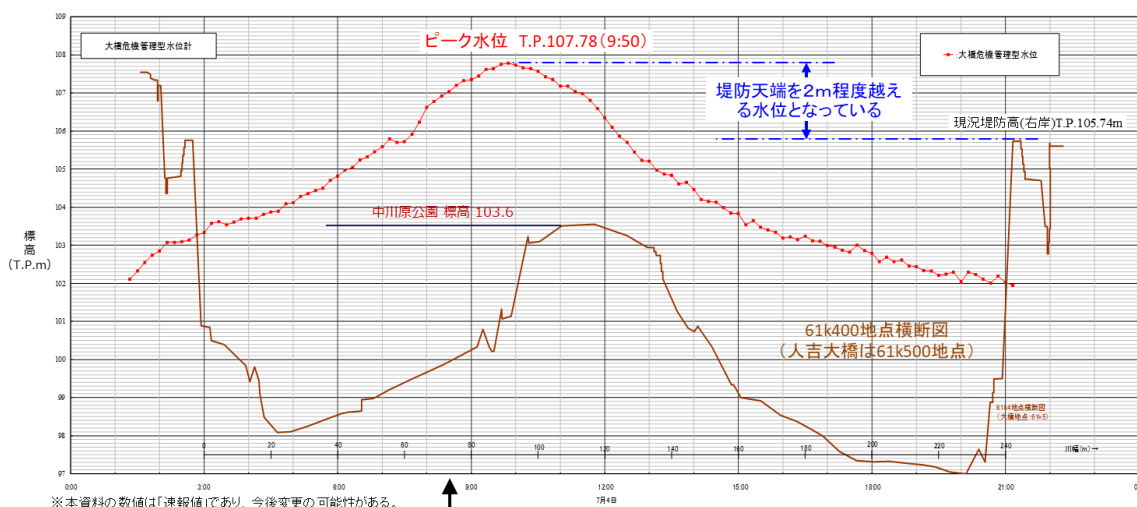


図 人吉観測所における観測水位

- また、人吉水位観測所の約 700m 下流にある人吉大橋付近については、周辺の堤防高を 2m 程度超える水位となっていました。しかし、人吉大橋に設置している危機管理型水位計（超音波式の観測）については、橋梁の路面高とほぼ同じ位置であり、周辺の堤防高と比べ高い位置に設置されていたこともあり、ピーク水位を計測することが出来ました。なお、この危機管理型水位計によるピーク水位の計測結果については、洪水後に実施した痕跡調査の水位とほぼ一致していることを確認しています。



※本資料の数値は「速報値」であり、今後変更の可能性がある。

↑  
※人吉水位観測所は、7月4日午前8時30分以降「欠測」

図 人吉大橋危機管理型水位計（設置高：TP108.24m）の観測水位

- 令和2年7月豪雨時の球磨川の水位については [こちら](#) をご覧ください。
- なお、令和2年7月豪雨時の球磨川の水位を含む令和2年豪雨の検証については、国土交通省八代河川国道事務所のホームページ [「第1回令和2年7月球磨川豪雨検証委員会」](#) に掲載しています。